

参加チーム 各位

2018年6月22日
(一社)大阪府サッカー協会
大阪府フットサル連盟

第14回全日本大学フットサル大会 大阪大会

大会実施要項

記

| | |
|--------|--|
| 大会名称 | 第14回全日本大学フットサル大会 大阪大会 |
| 日 程 | 予選グループリーグ : 6月30日(土)、7月1日(日) 準 決 勝 : 7月1日(日) 決 勝 : 7月14日(土) |
| 会 場 | 予選グループリーグ・準決勝 : 大阪成蹊大学 決勝 : 大阪市立千島体育館 |
| 主 催 | 公益財団法人 日本サッカー協会 |
| 主 管 | 一般社団法人 大阪府サッカー協会 |
| 協 力 | 一般財団法人 日本フットサル連盟 大阪府フットサル連盟 |
| 参加資格 | (1) 公益財団法人日本サッカー協会(以下、「JFA」とする。)に「フットサル1種」または「サッカー1種」の種別で加盟登録したチーム(準加盟チームを含む)に所属している選手により、本大会のために構成されたチームであること。 (2) 第1項のチームに所属する単一の大学(大学院生を含む)・短大に在学している選手であること。男女の性別は問わない。 (3) 外国籍選手は1チームあたり3名までとする。 (4) 都道府県大会、地域大会を通して、選手は他のチームで参加していないこと。役員は本大阪大会において、他のチームで登録されていないこと。 (5) 成人で、チームおよびチーム関係者の行動を掌握できる、引率者がいること。 (6) チームまたは個人でスポーツ傷害保険に加入していること。 |
| 参加チーム数 | 9チーム |
| 大会形式 | (1) グループリーグ(以下、GL):参加9チームを3チームずつ3グループに分けて予選GL戦を行う。 (2) 予選GL各グループ1位の3チームと、各GL2位の最も成績が良かった1チームの計4チームが決勝トーナメントへ進出する。勝ち点は、勝ち3、引分け1、負け0とする。ただし、勝ち点合計が同じ場合は、以下の順序により決定する。 |

- ① 当該チーム内の対戦成績
- ② 当該チーム内の得失点差
- ③ 当該チーム内の総得点数
- ④ グループ内の総得失点差
- ⑤ グループ内の総得点数
- ⑥ 下記に基づくポイント合計がより少ないチーム
 - (ア) 警告1回 1ポイント
 - (イ) 警告2回による退場1回 3ポイント
 - (ウ) 退場1回 3ポイント
 - (エ) 警告1回に続く退場 4ポイント

⑦ 抽選

※ 各グループ2位の中で最も成績の良い1チームは、各グループにおける勝点合計の多いチームとする。勝点は、勝ち3、引分け1、負け0とする。ただし、勝点合計が同じ場合は、以下の順序により決定する。

- ① 各グループにおける総得失点差
- ② 各グループにおける総得点数
- ③ 抽選

(3) 決勝トーナメント：4チームによるノックアウト方式で行う。

(4) 準決勝の組み合わせは下記の通りとする。マッチナンバーから試合順に注意すること。

- ① Aグループ2位が出る場合：C1位 vs A2位(M11)、A1位 vs B1位(M10)
- ② Bグループ2位が出る場合：A1位 vs B2位(M10)、B1位 vs C1位(M11)
- ③ Cグループ2位が出る場合：B1位 vs C2位(M10)、C1位 vs A1位(M11)

競技規則

大会実施年度の「フットサル競技規則」による。

競技会規定

以下の項目については、本大会で規定する。

(1) ピッチは原則として40m×20mとし、ボールはフットサル4号球を使用する。

(2) 競技者の数…競技者：5名

交代要員：9名以内

ピッチ上でプレーできる外国籍選手の数：2名以内

(3) チーム役員の数：3名以内

(4) 競技者の用具

① ユニフォーム

(ア) フィールドプレーヤー、ゴールキーパーともに、色彩が異なり判別しやすい正副のユニフォーム(シャツ、ショーツ、ストッキング)を大会登録票に記載し、各試合には正副ともに必ず携行すること。ゴールキーパーがトラウザーズを着用する場合、登録されたショーツと同一の色彩でなければならない。また、貼り番号を認めるが、注意事項に記載の内容に沿うものでなければならない。

(イ) チームのユニフォームのうち、シャツの色彩は審判員が着用する黒色と明確に判別しうるものでなければならない(黒色・紺色は認められない)。

(ウ) フィールドプレーヤーとして試合に登録された選手がゴールキーパーに代わる場合、その試合でゴールキーパーが着用するシャツと同一の色彩および同一のデザインで、かつ自分自身の背番号のついたものを着用すること。

(エ) シャツの前面、背面に大会登録票に登録した選手番号を付けること。ショーツにも選手番号を付けることが望ましい。選手番号は服地と明確に

区別し得る色彩であり、かつ判別が容易なサイズのものでなければならない。

(オ) 選手番号は1から99までの整数とし、0は認めない。1番はゴールキーパーがつけることとする。必ず、本大会の大会登録票に記載された選手固有の番号を付けること。

(カ) ユニフォームへの広告表示については、JFAの承認を受けている場合のみこれを認める。ただし、ユニフォーム広告表示により生じる会場等への広告掲出料等の経費は当該チームにて負担することとする。

(キ) その他、ユニフォームに関する事項については、JFAのユニフォーム規程(2016年4月1日施行)に則る。ただし、今回の規程で追加・変更となった内容のうち、以下は2019年3月31日まで旧規程による運用を許容する。

第5条 [ユニフォームへの表示] ※該当のみ抜粋

GK グローブ・キャップへのチーム識別標章・選手番号・選手名の表示・両肩・両脇・両袖口・両腰脇・両裾に表示できる製造メーカーロゴマークの幅(10cmから8cmに変更)・同一の製造メーカーロゴを帯状に配置する場合のロゴマーク間の距離

② 靴

キャンバス、または柔らかい皮革製で、靴底がゴム、または類似の材質で出来ており、接地面がフラットで紺色、白色、もしくは無色透明のフットサルシューズ、または体育館用シューズタイプのもの。

(スパイクシューズおよび靴底が着色されたものは使用できない。)

③ ビブス

交代要員は、競技者のシャツと異なる色のビブスを用意し、着用しなければならない。

試合時間

[予選GL、準決勝]

30分間(前後半各15分間)のプレーイングタイムとし、
ハーフタイムのインターバルは5分間(前半終了から後半開始まで)とする。

[決勝]

40分間(前後半各20分間)のプレーイングタイムとし、
ハーフタイムのインターバルは10分間(前半終了から後半開始まで)とする。

勝者の決定

試合時間内に勝敗が決しなかった場合、試合の勝者は以下の方法で決定する。

[グループリーグ]

引分け

[準決勝]

PK方式により勝敗を決定する。PK方式に入る前のインターバルは1分間とする。

[決勝]

10分間(前後半各5分間)の延長戦を行い、決しない場合はPK方式により勝敗を決定する。延長戦に入る前のインターバルは5分間とし、延長戦のハーフタイムはなしとする。PK方式に入る前のインターバルは1分間とする。

懲罰

懲罰規程として以下の点を定める。

(1) 本大会において退場を命じられた選手は、自動的に本大会の次の1試合に出場できない。それ以後の処置については、本大会規律・フェアプレー委員会で決定する。

(2) 本大会において退席を命じられた役員は、自動的に本大会の次の1試合にベン

チ入りできない。それ以後の処置については、本大会規律・フェアプレー委員会で決定する。

- (3) 本大会期間中に警告の累積が2回に及んだ選手は、自動的に本大会の次の1試合に出場できない。(予選GLで受けた警告は決勝トーナメントには持ち越さない。但し、予選GL2試合目で2回目の警告を受けた場合、次の準決勝には出場できない。)
- (4) 本大会終了時点で未消化となる出場停止処分は、勝ち上がった場合は次の大会に引き継ぐものとする。本大会にて敗退した場合、当該チームが出場する直近のフットサル公式試合にて消化する。ただし、警告の累積によるものを除く。
- (5) 片方のチームが試合開始時に3人未満の場合は、0-5の不戦敗とする。
- (6) 試合途中で片方のチームが3人未満になった場合や、その他の理由で試合が打ち切りとなった場合は0-5、もしくは打ち切りとなった時点で0-5以上の点差がついていた場合はその結果とする。

注意事項

注意事項として以下の点を定める。

- (1) 6/30、第1試合のチームは、10時30分に会場に到着し会場準備を行うこと。また、最終試合のチームは会場撤収を行うこと(7/1、7/14開催時は設営は不要)。
- (2) 前の試合のキックオフ時刻(各会場の第1試合は試合開始1時間前、7/1のみ40分前)に、大会運営本部または大会運営委員会指定の場所でマッチコーディネーションズミーティング(以下、MCM)を行う。その際、①選手証、②試合毎のメンバー登録用紙(ユニフォーム欄のみ空白)、③正副のユニフォーム(FP、GK2セットずつ、合計4種類)を持参すること。メンバー表は大会ホームページよりダウンロードして各チームが持参すること。
- (3) ユニフォームに広告を掲示している場合は、JFAから発行された回答書および申請書を携帯すること。
- (4) ユニフォームに貼り番号をする場合は、キックオフまでに大会運営本部で確認をとること。番号は整数の1から99を使用し、0は認めない。布貼りの場合は4辺を全て縫い付け、大会本部で許可を得たもののみ認められる。使用するの布地は白色またはユニフォームの貼り付け部分の主たる色と同色とし、番号は見えるようにはっきりと、JFAユニフォーム規程の大きさの数字で記入すること。認められないユニフォームの表示を覆い隠す場合も同様に布貼りとするが、ユニフォームの主たる色と同色に限る。また、テーピング等での番号表記は認められない。
- (5) 別紙スケジュールに従い、予選GLにおいて帯同審判員1名と記録員1名、ボールパーソン2名を両チームより派遣すること。準決勝は記録員1名とボールパーソン2名を派遣すること。帯同審判員の所属は必ず大阪府でなければならない。帯同審判員割当は、対戦表の左側のチームが第3審判、右側のチームがタイムキーパーとする。審判員証[電子登録証も可]を必ず持参すること。顔写真が登録されていないものは不可とする。(決勝の派遣割当は無し)
- (6) 試合中に飲めるのは水のみとする。その他の飲料はフロア近辺に持ち込まないこと(観客席に置いておくこと)。飲水場所は体育館の使用規定に従うこと。
- (7) ベンチ入りする役員は、MCM終了後からキックオフ予定時刻の30分前までに、運営本部にてADカードを受け取り、試合中は常にADカードを提示していなければならない。ADカードは試合終了後、速やかに運営本部へ返却すること。
- (8) 試合中はチーム関係者によるピッチレベルでの写真および映像の撮影を認めない。
- (9) ベンチでの氷のう袋の使用を認める。ただし、ビニール袋など水滴が周りに漏

れるものは、飲水場所での使用のみとする。また、その使用により床やシートを濡らした場合は会場のモップを使用せず自チームで用意したタオル等で拭き取ること。

(10) ゴミは各チームで必ず持ち帰ること、また体育館の使用規定に従うこと。

その他

- (1) 優勝チームと準優勝チームを表彰する。
- (2) 本大会の結果、1位のチームは、8月24日～26日に大阪府岸和田市総合体育館にて開催される第14回全日本大学フットサル大会に出場する義務を有する。
- (3) 本大会の結果、2位のチームは、7月22日に和歌山県河南体育館にて開催される第14回全日本大学フットサル大会関西大会に出場する義務を有する。
- (4) 本大会の結果、1位のチームは8月の全国大会本大会前日の設営準備を行うこと。
- (5) 代表者会議以降の大会登録票の選手や役員の追加や変更等は認めない。

お問合せ先

(一社)大阪府サッカー協会 大阪府フットサル連盟

メールアドレス : info@ofa-futsal.jp

※各種お問合せはメールにてのみ受け付ける。